

# さくら並木

～桜並木と町民憲章に

想いを寄せて～

大河原町長 齋 清志



高山開治郎氏  
【一目千本桜の  
生みの親】

新年度より、4年数か月ぶりに『さくら並木』を復活させていただくことになりました。その時々タイムリーなテーマを取り上げてまいりますので、ご講読のほど、切にお願い申し上げます。

町民の皆さまは、**一目千本桜**のルーツをどれだけご存知なのでしょう。樹齢90年を越えるソメイヨシノですが、この桜並木の礎を築いてくれた『高山開治郎氏』の功績は町史に残る一大事業でした。

高山氏は、家庭の不幸により故郷を離れながら、も常に大河原に心を砕き、故郷への恩返しを機会を心から願っていました。そして、苦境を乗り越えて、実業家として大成した後、人々の心のよりどころとなるものを残したいとして、二度にわたり合

計1200本の桜の苗木を寄贈したのでした。これが日本のさくらの名所百選に選ばれるまでになった**一目千本桜**のルーツなのです。自分と同じように故郷を離れた人々がいつでも帰ってこられるよう、あるいは想いを馳せることができるよう、高山氏にとつての原点である大河原への郷愁の念を絶えず持ち続けてきた結果に他ならないのです。改めて心からの感謝と敬意を表したいと思います。そしてもう一つ、町民の皆さまに知っていただきたい想いがあります。それは**町民憲章**です。

ここに川がある  
おおらかでやさしい川がある

ここに道がある  
たくましく未来へ続く道がある

ここに桜が咲く  
人々が集い心を通わせる桜が咲く

ふるさとのおおがわら

いにしえの  
ぬくもりとともに  
育てよう  
ふれあいの町を  
(昭和61年6月1日制定)

こう謳われている文脈のなかに、やはり桜に込めた町民の想いが表現されています。これまでも、そしてこれからも変わるここのない桜との縁は、私たちに心地よさと温もりを感じさせてくれるに違いありません。

今、新たな広域連携観光事業や地方創生関連事業をスタートさせるにあたり、桜並木や町民憲章といった原点に想いを寄せていく大切さを強く感じています。もうすぐ咲き誇る**一目千本桜**に勇気をいただきながら、『認めあい、支えあい、活かしかう一歩先行く元気なまちに』向かって邁進してまいります。町民の皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

(3月15日記)

駅前図書館今月の新刊「まちの本棚」

一般／■世界でいちばんおいしいお米とご飯の本  
お米とご飯の本  
お米とご飯の本

一般／■梨絵／著  
「ワニブックス」  
あなたはまだ本当のおいしいごはんを知らない！5ツ星お米マイスターが「ごはんの炊き方はもちろろん、お米の買い方から、冷凍保存したごはんの正しい解凍法までを徹底解説。雑炊、炊き込み、混ぜごはんなどのレシピ付き。

小説／■合理的にありえない  
【講談社】  
袖月 裕子／著  
不祥事で弁護士資格を略奪された上水流涼子は、探偵エージェンシーを運営。明晰な頭脳と美貌を武器に、怪人物がらみの「あり得ない」依頼を解決に導くのだが…。『メフィスト』掲載を単行本化。

児童／■ぼくのとりにきみ  
【ポプラ社】  
小嶋 陽太郎／著  
仲良し中1男子コンビのサクとハセは、夏休みの最終日、町のお古墳へ冒険に出た。拾った謎の暗号の解読に、いそしんでいると、近田さんが割り込んできて、暗号調査隊に加わり…。

絵本／■日曜日の小さな大ぼうけん  
【BL出版】  
愛川美也／作 みやざきあけ美／絵  
誰もいない日曜日、虫が大の苦手な小学生の男の子が、家の中でカマキリに遭遇してしまった！少年の動揺と小さな勇気を克明に追いつながら、3時間の「大ぼうけん」をユーモラスに描く。

# 平成29年4月1日より、役場組織体制の一部を改めました

本町では、町民の皆さまにさらなる多様で質の高い行政サービスを提供できるよう、現行組織の体制や業務等についての課題改善などを検討してきました。それにより今年度において、役場組織体制の一部が変更となりますのでお知らせいたします。

